



災害時にドローンを活用

6月6日(木)、市は、株式会社アクシアと「災害時等における無人航空機の活用に関する協定」を締結しました。この協定により、災害時などに市がドローンを活用した情報収集や物資輸送の協力要請を同社に行うことができます。岩淵敏幸代表取締役は「ドローンを活用し、市民の安全安心に寄与したい」と述べました。また、協定式後には、物資輸送のデモンストレーション飛行を行いました。



光と映像が民謡を彩る

6月2日(日)、栗原文化会館を会場に「東北民謡の祭典1N栗原」が開催されました。このイベントは、東北で活躍する若手民謡歌手が民謡や三味線、尺八などを披露する場として6年前にスタートしました。今回のテーマは「光と映像の世界」。演目ごとに变化する光と映像がステージ全体を照らし出す幻想的な雰囲気の中で演奏が披露されると、来場した人たちは、その世界観と音色に魅了されていました。



市民主体のフェス開催

5月26日(日)、細倉マインパークを会場に「栗原フェス2024」が開催されました。市民が立ち上げ、市民が参加し楽しむお祭りをしようと企画されたこの祭り。地域の伝統芸能や岩ヶ崎高等学校軽音部による演奏などが披露された他、屋台やキッチンカーも出店しました。また、夕方のローカル番組などに出演している、シンガーソングライターの高橋佳生さんらがスペシャルゲストとして出演。観客とステージが一体となり、会場は大いに盛り上がりました。



長寿100歳おめでとうございます

6月8日(土)、菅原よし子さん(栗駒若木)が、100歳を迎えられました。家業の農業を手伝いながら、若い頃は勤めにも出ていたという菅原さん。それぞれの仕事に精を出し、家族を支えてきました。現在は、週1回デイサービスに通いながら、日々穏やかに過ごされています。大病にかからないこと、小食でも好き嫌いせずに1日3食バランスの良い食事を取ることが長寿の秘訣と語られました。



あやめ祭り開催中

7月3日(水)まで、一迫山王史跡公園あやめ園で「第40回山王史跡公園あやめ祭り」が開催されています。会場のあやめ園は、山王園遺跡の国史跡指定を受け、昭和51年から整備されました。祭り期間中、ハナショウブが園内を鮮やかに彩り、毎年多くの人が見物に訪れます。開園式では、テープカットが行われた他、一迫婦人会による一迫音頭や、シンガーソングライターの高橋伸勝さんによるテーマソングが披露され、訪れた人たちから盛大な拍手が送られました。



くりこま夜市の季節到来

6月8日(土)、栗駒地区の六日町通り商店街で「第41回くりこま夜市」が開催されました。この催しは、商店街の魅力発信と活性化を目的に6月から8月の毎月第2土曜日に行われ、商店街の風物詩として親しまれています。歩行者天国となった商店街には、飲食店やハンドメイド品の販売店など約60店が並んだ他、バンド演奏も行われ、多くの人でにぎわいを見せました。くりこま夜市は、7月13日(土)と8月10日(土)にも開催される予定です。



県大会へ思いをつなぐ

6月1日(土)と2日(日)、市内各地を会場に「令和6年度栗原市中学校総合体育大会」の競技種目の多くが開催されました。このうち、築館多目的競技場で開催されたホッケー競技男子の部では、築館中学校と栗原西中学校が対戦しました。両チームとも素早いパス回しから鋭いシュートを打ち合う展開に、コート脇の保護者から熱のこもった声援が送られました。7月に開催される県大会に向け、選手たちはさらに練習に励んでいます。



救命活動功績者に感謝状贈呈

5月28日(火)、市消防長は、迅速かつ適切な救命活動を行った、ドラッグストア薬王堂栗原一迫店店長の本田頌さん(志波姫町)、従業員の三浦千恵さん(一迫竹の内)、同店に買い物に訪れていた菅原基さん(志波姫新田)に感謝状を贈呈しました。3月12日(火)、3人は、同店内で倒れて心肺停止状態に陥った傷病者に対し、救急車が到着するまでの間、心肺蘇生などの救命活動を行い、傷病者は一命を取り留めました。